

伊野支所管内より



子育ても農業も、平成とともに

もりさわ ゆか
森澤 由花さん(54)

平成元年にご結婚され、今はご夫婦で農業を営む由花さん。“平成”には思い入れがあるのでは？と尋ねたところ、「子育てもしたし、いろいろな作物を作ってきたの。メロンにキュウリ、ミョウガ、花き、新ショウガも！」今はキュウリとスイカ、水稲、オクラで落ち着いているそう。「朝、咲いているオクラの花がきれいな。」と顔をほころばせました。

池川支所管内より



元気いっぱい！双子の兄弟

まつもと あき
松本 輝くん(2) 右
ひろ
潤くん(2) 左

元気いっぱいに登場したのは、双子の兄弟、輝くんと潤くん。お顔はそっくりだけど、性格はちょっと違う？！

恥ずかしがり屋の輝くんはお母さんにくっついて離れず、マイペースの潤くんは興味のおもむくまま、アチコチへ(笑)

性格は違うけど、好きな食べ物は「から揚げ」と、ここは息ぴったり♪ おいしいご飯食べて、池川の大自然みたいに、すくすくと大きくなってね♡

仁淀川
地区

から こんにちは
今月の○○ 気になる人

越知支所管内より



自然と触れ合い、遊ぶ喜びを伝えたい

くらた あおい
倉田 葵さん(26)

神奈川県からやってきた葵さん。お仕事は6月8日にオープンした「snow peak かわの駅 おち」の副店長です。越知町に移住して約1年。高知での生活は「自然が身近に感じられ、1年たった今でも新鮮！」とのこと。「外から来たので高知の良さをすごく感じます。そばにある豊かな自然は特別なことなんだと感じてもらえるよう、伝えていきたい」と意気込みます。

戸波支所管内より



未来を見すえて よりよい農業を

くすのせ つとむ
楠瀬 勉さん(39)

戸波地区でショウガ栽培をしている楠瀬さん。就農して8年、もっと経営をよくしたいと3年前に株式会社ゼンゼロを立ち上げ、積極的にこれからの農業を見すえて取り組んでいます。今年度は、青壮年部土佐市地区の部長にも就任。「部員同士、交流を深めて、情報交換を積極的にしていきたい。技術の共有を図り、産地としても盛り上げたい」と抱負を語ります。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



一生懸命田植えをする児童ら

1 あぐりスクール 秋の実りが楽しみ 田植え体験

「あぐりキッズスクール」仁淀川地区は6月8日、今期3回目の授業を開き、地区内の小学校15校の1〜5年生40人が、もち米の田植え体験を行いました。

児童らは、メザシや栗の花、干しシイタケ、昆布などをお供えし、田んぼの神様「おさばい様」に豊作を祈願して生産者の尾崎国弘さんと田植えを行いました。助け合い組織「赤い稲穂隊」の中村卓司隊長(66)に苗の植え方を教わり、7月の水田で元気に手植えしました。裸足

で田んぼに入るときは「冷たい」「足が抜けん！」とおおはしゃぎ。目印の紐を少しずつずらしながら、息を合わせて一列ずつ植ええました。

田植え後は「田植えをしている人に感謝」「泥だらけになった」「オタマジャクシやカエルがいっぱいいた」と声を弾ませました。

担当の組合員課の山本豊子さんは「協力し合って田植えができた。収穫後の餅つきも楽しみにしてもらえたら」と話しました。



茶葉の殺青具合を確認する鮎係長(手前)

2 営農 製茶・新ライン完成 発酵茶も製造可能に

佐川町黒岩にある緑茶加工場に新たな製茶ラインが5月25日に完成し、6月5日から本格的に稼働しました。

新機械の導入により、煎茶に加え、新たに紅茶やウーロン茶、釜炒り茶も製造できるようになりました。一つのラインで4種類の茶葉を作れるのは全国的にも珍しいとのこと。

紅茶やウーロン茶の葉は、煎茶と違い、発酵や釜炒りなどの工程が加わるため、従来の機械では製造できませんでした。多種類の茶葉を製造することで、消費者のニーズに添えていく考えです。

佐川支所営農経済課の鮎遠清係長は「二番茶を加工して付加価値をつけることで、地域の茶生産を守っていきたい。今後は各種イベントで売り出す予定なので、楽しみに待っていてください」と抱負を語りました。

3 営農 9月の収穫に向けて 水晶文旦



現地検討会を行う部会員ら

土佐市施設果樹部会は6月5日、水晶文旦の現地検討会を開きました。営農指導員と部会員らが5戸のハウスを巡回し、灌水、肥培管理や病害虫対策を共有しました。

同部会の中平吉彦部会長は「近年は天候が読みにくく、今まで以上に繊細な管理が必要になってきている。難しい面もあるが、例年以上にいいものを作り、多くの消費者に喜んでもらいたい」と話しました。

4 営農 作後の残さ処理確実に



(左) 2日目 / (右) 4日目 キルパーについては営農経済センターへお問い合わせください

土佐市胡瓜部会は、6月11日から14日にかけて、作後の残さ処理を効果的に行う薬剤「キルパー」の試験を行いました。

キルパーを定量希釈し灌水することで、一週間程度かかる蒸し込み処理が4日程度まで短縮できます。試験では散布した翌朝には樹が枯れ、アザミウマの発生も4日目にはなくなりました。とさし営農経済センターの前田尚吾指導員は「黄化えそ病やアザミウマの被害があるほ場では、次作に有効」と話しました。

5 組織活動 販売や出荷の最新情報学ぶ



南国スタイルで熱心に話を聞く女性部員ら

女性部コスモス地区は6月21日に「食と農 環境についての研修会」を行い、高知市のJAファーマーズマーケット「とさのさと」と南国市のJA出資法人の「南国スタイル」を視察しました。参加者は「とさのさと」で、大型直販所ならではの販売や出荷の仕組みを学びました。「南国スタイル」では、次世代型ハウスのパブリカ栽培を見学しました。参加者は「最新の情報を学ぶことができ、視野が広がった」と話しました。

6 組織活動 日々の生活に彩を 草木染め体験



草木染めを楽しむ参加者

女性部土佐市地区は6月15日、「草木染め教室」を開きました。女性部員、地区内外の地域住民ら15人が参加しました。

香美市在住の染織作家の山崎香織さん(40)を講師に招き、ヨモギや柿の葉など原料に絞りを染めを楽しみました。参加者は「色が染めていく」と喜びました。

同地区の宮地幸女性部長は「身の回りにある草花で布を染められる面白さや喜びを多くの人と分かち合いたい。日々の生活の彩になれば」と話しました。

あなたもチャレンジ！家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

えいのう〜



ハクサイ 病害虫の予防を万全に

園芸研究家●成松次郎

ハクサイの原産地は中国。日本に本格的に導入されたのは明治初年と意外にも新しい野菜です。生育適温は15〜20度の冷涼な気候で、寒さに強い冬の代表野菜です。

8月中旬〜9月上旬にまき、早生種で種まき後60〜70日、中生種で80〜100日で収穫できます。

「品種」漬物、鍋物用には大型の品種が主流ですが、小型品種もありま。年内取りは、早生品種の「晴黄65」（タキイ種苗）など、中生品種では、黄芯系の「黄（ころ85）」（タキイ種苗）、「黄将」（カネコ種苗）など、また、重さ600gくらいの「娃娃菜」（トキタ種苗）、「タニー（シシユ）」（サカタのタネ）などがあります。

「苗作り」連結ポットなどに3〜4粒まき、途中、間引きをして1株にし、本葉4〜5枚の苗に仕上げます。ネットでトンネル状に覆うなどして、虫の侵入を防ぎます。

「畑の準備」植え付け2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、土よく混ぜておきます。1週間前までに畝幅70〜80cm、深さ20cmの溝を掘り、溝1mにつき化成肥料（N・P・K 10-10-10%）100gと堆肥1kgを入れ、土よく混ぜて畝を作ります。ウイルス病を媒介するアブラムシの飛来を防ぐには、白や銀色の反射性マルチフィルムを使うと効果的です。「植え付け」植え穴は50〜60cm間隔に掘り、畑が乾いていたら穴に水やり

をしておきます。植え付けの深さは、子葉の下までの深さになるようにし、株元の土を手でしっかり押さええます。

「追肥」本葉10枚のころ畝の肩に化成肥料を1株10gくらいまいて、株元に土寄せします。2回目はその20日後に通路にまき土寄せします。

「病害虫の防除」ヨトウムシ、コナガ、アブラムシなどが多いので、オルトラン水和剤などで駆除します。病気の予防には、管理のときに葉を傷めないことですが、軟腐病では発病株を早めに除去し、広がりを防ぎます。「収穫」結球の頭を押さえて、葉に緩みがなく、しっかりしたら収穫時期です。

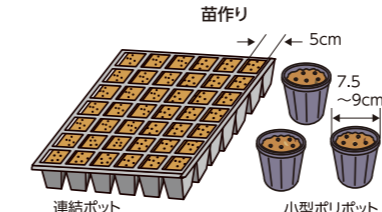
夏バテで食欲が減っていませんか？ エコープ糸寒天は水で戻してサラダや和え物などに使える、簡単便利な食材です。のど越しよくするために、こんにゃく成分も入っていて、つるつる食べられます。春雨がわりに酢の物の具材として、パパッと足してみてください！

Aコープ・直販店で取扱中！
(店舗によっては取り扱いがない場合もございます。ご了承ください)

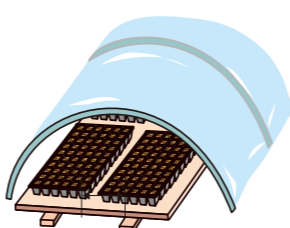


ためしてみよう!!
イチオシ商品

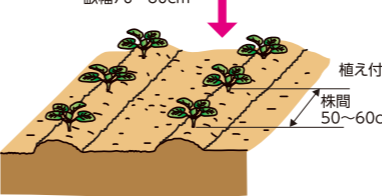
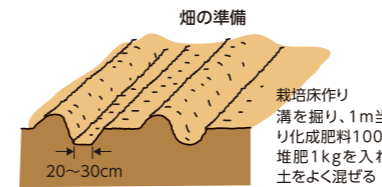
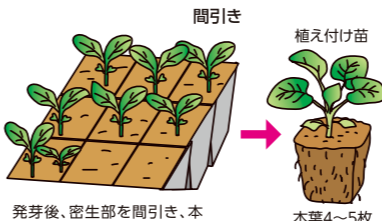
エコープ
糸寒天



日よけ、虫よけトンネル



白い寒冷しゃでトンネル入り口部分も覆って虫の侵入を防ぐ



今月の病害虫対策

ニラ さび病



発生しやすい条件

夏胞子が風や雨滴とともに飛散しまん延します。夏胞子の発芽は8〜30℃がもっとも適しますが、発病は気温が16℃〜25℃で、降雨が続いたり、葉が長時間濡れたりすると多発生します。また窒素肥料を多く施用すると発生しやすくなります。

防除のポイント

発病前または発病初期にトリフミン水和剤2000倍液を散布若しくはストロビーフロアブル3000倍液を散布しましょう。本剤は侵襲性を高める展着剤を混用すると薬害が生じることがあるので、注意しましょう。

対策のポイント

- 発病前から定期的に薬剤散布を行って予防しましょう。
- 発病がみられたら、発病初期に薬剤防除を行い、その後の病気のまん延を防止しましょう。
- ハウス栽培・露地栽培ともに発病株の葉を捨刈りした場合には、それらの葉を速やかに圃場外に出しましょう。



ニラさび病

ニラのさび病は夏ごろから発生するのが特徴です。葉にややふくらんだ黄褐色の斑点が生じ、中から同様の色の粉を出せば、さび病です。

風通しが悪く、多湿環境下で発病と伝染が盛んになりますので、しっかり対策を行いましよう。

病原の生態・生活史

ネギ属に寄生するさび病菌は、寄生性によって系統に類別されています。ニラ系の菌はニラにのみ寄生します。ニラは数種類の作型によって、一年中生育しているの、それらの葉に発病して夏胞子を形成したり、冬胞子の形で越冬したりして翌春に飛散し伝染したりします。

シヨウガの「白星病」と「根茎腐敗病」対策について



根茎腐敗病

根茎腐敗病は高温期に発生しやすく、時期としても7月上旬から11月の収穫時期まで発生が見られます。

症状としては、葉が黄色く退色し、やがて茎も黄化し枯れていきます。シヨウガに出る症状としては新芽の弱い部分から侵入し、エクボ状の病斑が見られます。さらに、感染株を圃場に放置しておくと、他の株へ伝染が早く、ひどい時は全滅してしまう恐れがあります。

対策としては、高温期に入る時期から「エニフォーム粒剤」の散布や「オーンサイド水和剤80」を使用し、予防剤として使用します。基本的には薬剤の残効日数は、14日から20日であるため、同じ薬剤の連用をさけてローテーション防除を行うと効果的です。

また、浸水してしまった後や罹病してしまった場合は「フランマンフロアブル」の使用をおすすめします。



白星病

白星病は、土壌の乾燥や肥料切れが主な原因で7月上旬から10月上旬にかけて大流行します。

症状としては、葉面が真っ白になり光合成を阻害され、収量が減少してしまう被害があり発生してしまつと、周囲への広がりが早いため注意してください。

そのため、薬剤を展開葉の先まであたるように散布してください。

薬剤は、降雨前に「ダコニール1000」や「アフェットフロアブル」を使用し、降雨後に「トリフミン水和剤」や「スコア顆粒水和剤」、「サンリット水和剤」などを使用してください。

「えいのう」のオクラの生育診断〜収穫中期の中に、誤りがありました。ここに訂正とお詫びを申し上げます。

（誤）収穫果実の大きさ AM品程度の長さ（8.0〜10.5cm）
（正）収穫果実の大きさ AM品程度の長さ（8.5〜10.5cm）

※JA版農業電子図書館より一部記事抜粋

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

『新「とさのさと」へ行くこう！』は注目のマーケットの詳細がわかってよかったです。

(土佐市支所管内・Mさん68歳)

話題の新「とさのさと」まだ行けてないのですが、注目の御座地区ということも重なって、是非とも行かねば!! の思いを強くしました。帯屋町の店舗から知っているものとしては成長が嬉しく楽しい限りです。

(佐川支所管内・Kさん55歳)

とさのさと、行ってみたいと思いがらまだ場所がいまいちピンときません。高知駅からどのくらいとか、大まかな地図プラス今回の地図の2本立てなら、方向音痴のばあばでも行けるのによっと残念な気も。地図アプリも見ながら運転できないしざっくり場所がわかるとうれいのです！

(伊野支所管内・Hさん61歳)

▼『新「とさのさと」へ行くこう！』のコーナーへのお手紙がたくさん届いています。行ったことがある方も、まだの方も注目されているのがよく伝わりました。秋には同敷地内に新施設「あぐりコレット」がオープンするので、そちらも合わせてお楽しみに！場所については、高知駅から車で6分ほど東に行ったところにあります。県道374号（高知駅前の東西を走る道）をまっすぐ東に向かい、エースワン御座店を左折（北方向）に曲がるとすぐですよ。サニーマートの看板ととさのさとの看板があるのでわかりやすいと思います。ぜひ行ってみてくださいね。

北原ふるさと市を取り上げてくださり、ありがとうございます。出荷者のはげみになります。

(土佐市支所管内・Mさん71歳)

コチットの直販所めぐり、切り花がとてもきれいに映っていて、自宅からも比較的近いので買いに行ってみたいです。

(伊野支所管内・Mさん55歳)

北原ふるさと市へは家から近いので花やシキビ、果物、野菜を買いに行くのが楽しみです。

(新居支所管内・Hさん81歳)

▼仁淀川地区管内の直販所ということもあり、こちらもおたよりたくさんいただきました。大規模直販所も地元の直販所も、どちらも良いところがあるので、直販所めぐりは楽しいですよ！平地と山間部と旬の時期が違ったりするのも、おもしろいです。

あぐり食堂ほつとに行ってみたくて思いました。次回からも農家食堂の記事を楽しみにしています。

(斗賀野支所管内・Kさん52歳)

あぐり食堂のモーニングがおいしそうですね。で行ってみようと思います。

(土佐市支所管内・Yさん33歳)

▼地元の食材で作られるモーニングやランチ、とてもおいしそうですね！近くにあったら、毎日通ってしまいそうです★

「豚肉と新シヨウガの炒め物」のメニューを参考に料理を作りました。美味しかったです。

(土佐市支所管内・Yさん85歳)

新シヨウガを千切りにして、かき揚げを作ってみたら、おいしくてはまってしまいました。夏にむけていいかも！ビールがすすむよ。

(越知支所管内・Fさん59歳)

▼新シヨウガのかき揚げ、おいしいですよ！仁淀川地区はシヨウガの産地。皆さんが普段作られている料理、いろいろと教えてくださいね！

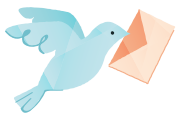
花のある暮らしでアジサイをステキに生けていました。さっそくまねして飾りました。大好きです。

(佐川支所管内・Yさん65歳)

カラー印刷がとてもきれいで見やすいです。今月はお花のページが特にきれいに載っていてよかったです。ありがとうございました。

(土佐市支所管内・Hさん63歳)

▼各地の川や用水路沿いで元氣よく咲くアジサイにはほっこりしますね。昔ながらのアジサイの他、最近では白色や緑色、八重咲きや小ぶりのものなど、いろいろな種類のアジサイをよく見かけるようになりました。雨でも町を歩くのが楽しくなりますね。



おたよりイラストコーナー



Mさん
(土佐市支所管内)



Fさん
(池川支所管内)



Kさん
(伊野支所管内)

今月の川柳

ときめきはこうぐりを待つ
パズルとく

(越知支所管内・Mさん88歳)

あの日あの時くりかえし見る
災害のひげきなんどもなんども
明日は我が身かも

(池川支所管内・Oさん82歳)